

げんき、めぐる、くどやま



九度山町
新町制施行70周年記念要覧

げんき、めぐる、くどやま

発行：令和8年3月
〒648-0198 和歌山県伊都郡九度山町九度山1190
TEL：0736-54-2019(代)
<https://www.town.kudoyama.lg.jp>
編集・制作：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

げんき、めぐる、 くどやま

九度山町は「日本一元気なまち」をめざして地域の魅力を育て、町民協働で取り組み、まちに「元気」を生み出しています。そしてその元気は新たな魅力を創り出す。その姿はまるで、種が芽生え、果実が実り、新たな種となる自然の循環そのもの。九度山町では「元気」がめぐり、広がり続けています。

九度山町は

「日本一元気なまち」をめざして

地域の魅力を育て、町民協働で取り組み、

まちに「元気」を生み出しています。

そしてその元気は新たな魅力を創り出す――。

その姿はまるで、種が芽生え、果実が実り、

新たな種となる自然の循環そのもの。

九度山町では「元気」がめぐり、

広がり続けています。

7 ページ
日本一の兵
真田幸村
ゆかりの地

根ざし、
めぐる、
くどやま
歴史・文化
自然・特産品

8 ページ

4 ページ
特別対談
実りある
はなし

18 ページ
未来への
種まき
九度山町の伝統を
こどもたちへつなぐ

18 ページ

16 ページ
実り、
めぐる、
くどやま
新町制施行
70周年記念年表

16 ページ

12 ページ
芽ぐみ、
めぐる、
くどやま
知恵と対話の
まちづくり

12 ページ

和歌山県 九度山町

和歌山県北東部、伊都郡のほぼ中央に位置し、南北8.5km、東西11.8km、総面積44.15km²の小さな山間のまち。世界遺産や真田ゆかりのまち、高野山の玄関口として、数多くの人が訪れます。



wakayama



町の花 ボタン



町の木 柿



九度山町長
岡本章

町長あいさつ
九度山町は、昭和30年3月31日の河根村との合併以来、70周年を迎えました。私自身、ちょうど町長就任20年の節目の年であり、この記念すべき年を町長として迎えられることを大変光栄に存じております。この先、10年、20年、さらには町制100周年と、次の世代につながるよう、「知恵と対話のまわりづくり」をテーマに町政運営に努めてまいります。

本誌では、九度山町の豊かな歴史・文化に加え、町の様々な取り組みや、次世代を担う子どもたちの輝く姿を特集し、ご紹介しています。本誌を通じて、九度山町の魅力を再発見していただければ幸いです。

今後とも九度山町のさらなる発展に向け、町民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

九度山町を
空から
見てみよう



特別対談 実りあるはなし

Talk theme
トークテーマ

わたしたちがめざす

「日本一元気なまち」

70周年を迎える九度山町
これまでを振り返って

岡本町長…私は今72歳で、生まれた頃を想像してみると、あの頃は林業が盛んでしたね。合併した河根村は林業で栄えた村だったので、九度山には果樹栽培と林業がありました。70年経って振り返ると、柿のブランド化はできましたが、林業は後継者不足などで非常に弱ってしまいました。

北川さん…現在の道の駅がある場所は貯木場だったんですね？

岡本町長…そうですね。元は国の営林署でして、高野山の近くで切り出された木をトロッコで

運び、川に木を流して運送していました。子どもの頃に見た、トロッコが木を運ぶ風景は記憶に残っています。さらにもう少し昔の話で言うと、南海電車も当時は高野下駅までしか走っていませんでした。みなさんそこから高野山に歩いて向かっていたので、高野下駅がある推出という地域にはその方たち向けの旅館がたくさんあり、その地域はそれで発展しましたね。

九度山町との関わりについて

北川さん…学芸員をしていた大阪城と上田城の友好提携調印式



の際に、上田市の姉妹都市として岡本町長に立会人に来ていただいたことがきっかけですね。

北川さん…北川先生が大阪城を退職されて九度山に来られた際に、私の忍者道具をミュージアムに寄託したことからですね。

桜花さん…大阪城と上田城の友好城郭提携1周年記念で、真田幸村のミュージカルが行わ

れ、見に来られていた岡本町長から「信州上田公演は決まりましたよ」と言っていたいただいたのを覚えています。それからずっと真田幸村の役をさせていただいて19年のお付き合いです。

現在の観光振興における地域資源の活用

岡本町長…20年前、九度山の観光について職員の方々と話したんです。実は歴代町長は真田に全く目を向けていなかったんですね。そこで、まず切り口として九度山町を「まちなか」「世界遺産」「自然体験」の3つにわけて、「まちなか」は真田幸村に



絞りました。

尼子さん…町長がおっしゃるまで真田は活用されてなかったんですね。

岡本町長…そうですね、全く触れられていませんでした。その他にも、くじやま芸術祭というイベントもやっています。役場職員と作家さん、町民が同じ方向を向いて一緒に力を合わせているのが1番の特徴です。町民の方々も職員もみんなやる気がありますし、恵まれていると感じます。

桜花さん…そんな方々が集まってくるのは、岡本町長の人柄でもありますよね。

北川さん…同じ九度山町でも、玉川峡の方に行くと、また全く

違う世界ですよ。

岡本町長…あの辺りは自然体験ゾーンという位置付けにしています。自然ももちろんですが、昔の小学校を活用した森の童話館という施設があります。ぜひ行ってみたいですね。あとは、道の駅も大きい観光の役割を担っています。町外だけではなく、近所の方にも使っているだけです。



これからの観光に必要なこと

岡本町長…その場所で食べるものやお客さんを迎える気持ちなど、景色や名所以外の何かを見つけないと力を入れていけば、まだまだお客さんも来てくれると思いますし、チャンスはあると感じています。

尼子さん…それで言うと九度山はそばですよ。

岡本町長…そうですね。幸村庵というところで長野県の信州そばを提供しています。真田ゆかりの信州そばが九度山で食べられるのが珍しくて人気です。



九度山町長
岡本章



九度山・真田ミュージアム
名誉館長
北川央



九度山町文化・観光大使
桜花昇ぼる



漫画家
尼子騷兵衛

最期の戦いに備えた
九度山に残る足跡

九 度山町は、日本一の兵と呼ばれた真田幸村ゆかりの地。

慶長5年(1600年)、関ヶ原の戦いに敗れた真田昌幸・幸村父子は、高野山へ流され、まもなく麓の九度山に移りました。九度山では、嫡男である大助とともに訓練も怠りませんでした。時は流れ、慶長19年(1614年)、幸村と大助は九度山を後にし、大坂冬の陣へと出陣。翌年に起きた夏の陣で幸村は壮烈な最期を遂げます。この戦いぶりを讃え、幸村は「日本一の兵」と後世に語り継がれています。

九度山町には幸村の足跡が随所に残され、人々の心に生き続けています。

九度山・真田ミュージアム

真田三代の物語を後世へと語り継ぐことを目的とした施設。14年間という幸村の生涯で最も長い時間を過ごした、九度山での生活を、資料やジオラマ、映像、パネルなどで紹介しています。



紀州九度山真田まつり

毎年5月初旬に開催される九度山町内の大イベント。真田鉄砲隊の演武や武者行列、飲食ブースやステージショーなどで盛り上がります。



真田の赤備え

甲冑などの武具を赤で統一した編成。大坂の陣で、真田幸村は赤備えの軍を率いて壮烈に戦い抜いたと言われています。

ひのちいも つむもの
日本一の兵

真田幸村ゆかりの地



真田庵

真田昌幸・幸村父子の屋敷跡に建てられた寺院。境内には土蔵造りの資料館もあり、真田家や寺を建立した大安上人に関連する資料が展示されています。

真田古墳
(真田の抜け穴)

6世紀頃の古墳で、「かつて真田幸村はこの抜け穴を使って戦場へ出向いた」という伝説が残っています。



特別対談 実りあるはなし



「日本一元気なまち」をめざした取り組み

岡本町長「日本一元気なまちづくり」とはなにかというと、町民の方々がいきいきと生活できる場所をつくることです。行政と町民が一緒に元気にやっつけていこうという思いが強いですね。観光の分野で言いますと、世界遺産や自然、今のまちなみなどをそのまま残したいと思っています。あとは、少子高齢化に対応するために若者が住める条件づくりにも取り組んでいます。若者向けに新たに住宅を建てたり、学校給食や中学生の医療費を無料にしたり。子どもがいないとまちの将来はないので、そういうところに力を入れて「元気なまちづくり」を進めていきたいですね。

尼子さん「九度山のまちなみを通るとき、ゆっくり歩きたいなと思うんですね。だから町長の「残したい」という言葉が心強いんです。まちなみを残して、町長がどんな風に活用されるのか楽しみです。

北川さん「僕もまちなみや町民の人情が満ちあふれる今の雰囲気は残ってほしいです。でもそれだけでは繰り返して来られないと思います。この真田ミュージアムは、常設展示だけではなく企画展の会場も作っており、『落第忍者乱太郎』の原画展や忍者道具の展覧会など、いろいろなことをしています。こういう変わるところと寺やまちなみなどの変わらないところを組み合わせ、九度山町の良さを何度も体感してもらえるようにしたいです。

これから向かっていく
九度山町の未来

村です。そんな暮らしを「九度山く愛しき日々」という素晴らしい歌にしていきたい、大切に歌っています。九度山の情景が浮かぶこの曲を、全国の皆さんに知っていただきたいと思っています。

岡本町長「町長をさせていただいて20年。これからどうしていくかを考えると、「今をどう伝えていくか」ということだと思っています。まちの歴史を子どもたちに伝えて、どう未来を託すか。教育や少子化対策は基本的にやっているのですが、それに付加価値をどうつけるかということが大切だと思っています。そして、大きな夢を持って生きていくべきだと思います。

せんでした。携帯電話やインターネットが普及し、昔に比べてとても便利になりました。けれど、便利になることが必ずしも幸せになるとは限らない。先ほど桜花さんがおっしゃったように幸村は幸せな村と書くので、それにふさわしい、幸せを実感できるまちになってくれたらうれしいです。

尼子さん「私は町民が幸せなまちが良いまちだと思うんです。だから、町民の幸せを第一に考えてくださる岡本町長がいらっしゃるというのは、九度山町の未来は明るいと思います。これから町長がみなさんの幸せのために、どんなことをされていくのか楽しみです。

豊富な歴史が九度山の魅力



真田ゆかりのまちである九度山町のまちなみには、真田家を守るための工夫があります。世界遺産の町石道に並ぶ、石の卒塔婆一つ一つにも歴史が感じられ、それらが九度山の歴史的な魅力になっています。九度山町まちなか語り部の会 会長 大川 久仁子さん

interview



旧萱野家 (大石順教尼の記念館)

山寺の僧などの住居である里坊として江戸時代中期に建立。大石順教尼がしばしば滞在されました。



椎出厳島神社

かつては椎出村の産土神でしたが、明治時代末期に町内の上古沢厳島神社へと合祀され、現在は当地に社殿だけが残っています。



丹生官省符神社

弘法大師空海によって弘仁7年(816年)に創建された古社。高野参詣道町石道の登山口に鎮座しており、本殿は世界遺産に登録されています。

九度山に根ざす、深い歴史

九度山町は歴史文化資源が豊富にあり、女人高野とも呼ばれる慈尊院や丹生官省符神社、高野参詣道の町石道が平成16年(2004年)に世界遺産に登録。高野山の玄関口に位置する九度山町は、高野参詣起点の地として数多くの人々が訪れています。また、町内の神社では一年を通して伝統行事が行われており、文化財に指定されているものもあります。九度山町には、昔から残る深い歴史が地域に根ざっています。



高野参詣道 町石道

慈尊院から高野山まで180本の町石が続く参詣道。町石は1町(約109m)ごとに建てられており、かつては町石ごとに礼拝し高野山に登ったとされています。

根ざし、めぐり、くどやま

歴史・文化

九度山町に残る歴史・文化や広がる豊かな自然。それらの資源は地域独自の魅力となっており、九度山町に根ざしています。



慈尊院

弘法大師空海が高野山開創の際に表玄関として伽藍を創建した寺院。「女人高野」ともいわれ、高野山が女人禁制だった時から多くの女性が参拝した歴史があります。

玉依御前

弘法大師空海の御母公。慈尊院に滞在していましたが、入寂の際、本尊に化身したとされ「女人高野」と呼ばれる由来となりました。



11月：河根の山車巡行

河根丹生神社の秋祭りで行われる伝統行事。河根地区の山間の参詣道で曳かれる山車は迫力満点です。



10月：官省符祭

丹生官省符神社で執り行われる例大祭。舞の奉納や社中の踊り、もち投げなど趣向を凝らした祭りです。



10月：えびすのお祭り

えびす様が24人のお供を従え、舞楽を奉納して神殿に渡る神事。毎年10月に古沢厳島神社で行われます。



8月：椎出鬼の舞

天災の退散や五穀豊穡を願って行われる椎出厳島神社の行事。赤髪鬼が迫力ある舞いを奉納します。



8月：傘鉾

古沢厳島神社で毎年8月16日に、直径2mの布をかぶせた傘鉾3本を先頭に40人がお渡りを行います。



4月：花盛祭

丹生官省符神社で毎年4月に行われる祭り。町内の小学生が舞姫となり「浦安の舞」などを奉納します。

一年をめぐる
九度山町の
伝統行事



富有柿

豊かな自然と栽培に適した環境に恵まれた九度山でつくられる富有柿は「日本一の富有柿」と評価され、九度山町を代表するブランドの一つになっています。



柿加工品

九度山町の特産品「富有柿」などを使用した加工品を製造販売。お茶やお菓子など多岐に渡ります。

ふるさと産品直売所

柿の収穫期限定で開かれる直売所。九度山でつくられた富有柿をはじめ、野菜や果物、その他様々な地元の名産品を販売しています。



真田家ゆかりの特産品



真田紐工房

真田幸村ゆかりの地を広く知ってもらうため、住民グループ「九度山真田紐研究会」が開設した工房。見学や紐織り体験をすることができます。



真田紐

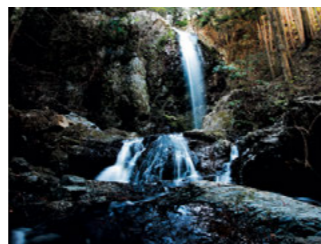
伸びにくく丈夫なことが特徴で、九度山に蟄居していた真田父子が資金集めと諸国の情勢を探るために、家来に行商させたとも言われています。

自然を味わい九度山を楽しむ



九度山町には高野山や紀の川をはじめとした自然が豊富。世界遺産の町石道でも四季折々の風景が見られます。九度山町の「日本一の富有柿」は、そんな自然を活かした特産品の一つになっています。

高野山町石道語り部の会 会長 森下 稔さん *interview*



高野山町石道玉川峡 県立自然公園

玉川峡・高野参詣道町石道・宝来山神社で構成された県立自然公園で、自然の美しい風景と歴史を味わうことができます。



キャンプ場

丹生川沿いにはキャンプ場が並んでおり、訪れる人で賑わっています。豊かな自然環境を活用して、一年を通して楽しめるスポットになっています。



丹生川

東西に流れ、町北部で紀の川に合流する一級河川。春の風物詩として、約100匹の鯉のぼりが空を泳ぐ「こいのぼりの丹生川渡し」が見られます。



玉川峡

奇石や大小様々な滝が織りなす景勝地で、桜やホタル、紅葉など四季折々の表情を見ることができます。県の名勝にも指定されています。



龍王溪

九度山のまちなかから高野下駅付近まで続く溪谷。溪谷沿いは遊歩道として整備され、そこから見える丹生川橋梁と合わせて人気スポットになっています。



根ざし、めぐる、くどやま

自然・特産品

まちの元気は豊かな自然から

九度山町は、高野山をはじめとした山々や紀の川が運ぶ水の恵みによって豊かな自然環境が形成されています。

九度山町では、広がる自然環境を活用し、キャンプ場や自然公園、景勝地などを整備し、人を呼び込んでいます。また、栄養豊富な土壌によって高品質の特産品を生産。特に「富有柿」は評価が高く、日本一と称されています。

まちにあふれる元気は、地域に根ざす豊かな自然から生まれ、育まれています。

町の活性化に向けた
取り組み



真田いこい茶屋

地元ボランティアが運営するまちなか観光の休憩所。お土産や軽食、地元食材のみを使用した手作り弁当を販売しています。



くどやま芸術祭

「町が丸ごと美術館に」を掲げ、古い趣ある町家や慈尊院、丹生官省符神社など歴史文化とアートが融合したイベントです。



芽ぐみ、めぐる、くどやま

若い世代の働く場所をつくりたい



いこい茶屋は無料休憩所として、地域住民や観光客をおもてなししています。九度山町の「元気」のためには若い人の働く場所が必要。そのためにも、安価で食事などができる食堂にも取り組んでいきたいです。

真田いこい茶屋
海堀 順子さん 坂上 京子さん

interview

町民とともに育てる
九度山の元気

九度山町は「日本一元気なまち」をめざして、町民とともに取り組む「知恵と対話のまちづくり」を進めています。
住民ボランティアが主体となって、まちなか散策の休憩所運営やイベントの開催など、様々な取り組みを実施しています。
また、令和7年(2025年)には九度山町初の地域おこし協力隊が着任し、農業を中心に地域の活性化を推進。九度山町の元気は、官民一体の取り組みによって大きく育っています。

知恵と対話のまちづくり

町民とともに取り組む
「知恵と対話のまちづくり」によって、
九度山町の元気は
芽ぐみ、育ち続けています。

九度山町
住民クラブ



町家の人形めぐり

毎年4月、各家で大切にしている雛人形・五月人形と、住民が趣向を凝らしたオリジナル作品を展示しています。

手作り甲冑教室

甲冑を一から手作りする教室を開催。教室の参加者は、紀州九度山真田まつりに手作りの甲冑で参加し、まつりを盛り上げています。



九度山の「今」を残し若者たちへ

九度山町住民クラブは、毎年春・まちなか商店街を舞台に町家の人形めぐりを開催しています。九度山が好きな若者を増やすことがまちの「元気」を生むと思うので、今の取り組みを続けながら継承していきたいです。

九度山町住民クラブ
梅下 修平さん

interview

柿農家活動

柿農家の後継者不足解消のため、新規就農を目指して柿農家活動を実施。栽培技術の習得などに取り組んでいます。



地域おこし
協力隊

令和7年4月に
九度山町初の
隊員が着任!

九度山だからできる農業をめざす

JAでの農業研修を中心に、役場での手伝いや町内イベントの運営などに携わっています。九度山の「元気」のためには、やはり若い力と日々の暮らしの中で人が関わり続けられる環境づくりが大切だと感じています。今後は、九度山の柿を守り品評会で上位入賞をめざします。そして、九度山で無理なく続けられる農業の形を模索していきたいです。

地域おこし協力隊
佐野 隆馬さん 清本 勝史さん

interview



観光・交流

地域の交流促進や観光振興の取り組みとして、施設の整備やイベントの開催、広域での連携を実施しています。紀の川のほとりに建設された道の駅は、観光客の誘致だけでなく、買い物難民対策や防災拠点として整備。また、真田ゆかりの地のつながりで、長野県上田市と姉妹都市連携を締結し、町内外の交流を活性化させています。



道の駅 柿の郷くどやま



九度山町まちなか軽トラ市



上田市との姉妹都市連携

産業

九度山町では、日本一と称される富有柿などの柿の生産が盛ん。まちの基幹産業となっている農業を守り、さらに活性化させるため就農支援などに取り組んでいます。また、特産品を活かしたイベント「大収穫祭IN九度山」の開催や白浜町・高野町と活力あるまちづくりを推進するため連携協定を結ぶなど、新たな産業としての「観光」を強化しています。



就農支援



観光まちづくり相互連携協定



大収穫祭IN九度山

安心・安全

長く九度山町に住んでもらうためには、すべての人が安全かつ安心して暮らせる環境が大切です。九度山町では、行政や消防団などが協力して町民対象の防災訓練を行っています。また、小中学校においても授業の中で防災学習を実施。町民の安全・安心な暮らしを守るために取り組みを進めています。



避難訓練



防災学習



九度山町消防団



英語教室

未来の九度山町を担う子どもたちが健やかに育つための取り組みを実施しています。子育て世代が安心して子育てができるよう、子育て支援グループの活動や各種助成金の整備などに取り組み、子育てがしやすい環境を創り上げています。教育分野においても、地域資源を活用した体験学習などを行い、子どもの成長を支えています。

子育て・教育



体験学習(紙遊苑で和紙すき)



家庭教育支援チーム「きらら」

すべての人が元気に暮らしやすく

芽ぐみ、めぐる、くどやま

九度山町のまちづくりは、まちに暮らすすべての人が元気に過ごし、そして暮らしやすいまちをめざして、町民の声をもとに進められています。地域の交流や観光振興、柿栽培をはじめとした産業活性化の取り組み、子育て世代の定住をめざした事業など、各分野からのアプローチでまちに活気を生み出しています。



食と健康の教室



地域包括支援センター

地域包括支援センターで総合的な支援を行っており、町民の暮らしを支えています。

健康・福祉



介護予防教室

九度山町は高齢者が多い地域のため、健康・福祉分野の取り組みも充実しています。すべての町民がいつまでも元気に過ごすために、運動や食を通じた健康増進を目的とした教室などを実施。また、

実り、めぐる、くどやま



九度山町は誕生から70年の年月を着実に歩んできました。

「日本一元気なまち」に向けて
まちには「元氣」が実っています。

1965 昭和40年

- 1965.12 九度山町史 発刊
- 1966.7 役場庁舎 竣工
- 1967.4 鉄田町長 就任
- 1968.9 西島地区畑地灌漑事業 完成
- 1969.3 下古澤地区農業構造改善事業 完成
- 1970.3 九度山小学校第1期工事校舎 竣工

1955 昭和30年

- 1955.3 旧九度山町・旧河根村が合併、九度山町 誕生
- 4 初代 石井町長 就任
- 1957.1 九度山町章 制定
- 6 九度山町民歌 決定
- 1958.10 町道1号線 竣工
- 1963.7 慈尊院弥勒菩薩座像国宝 指定
- 1964.6 学校給食共同調理場 竣工



役場庁舎

日本一 九度山の富有

1985 昭和60年

- 1986.1 新町制施行30周年記念婦人議会 開催
- 1987.11 町民総合運動場 完成
- 1988.3 九度山町民憲章 制定
- 1989.9 町初 企業誘致締結
- 1990.5 奥野町長 就任
「九度山100年のあゆみ」刊行
- 1991.3 第1回九度山町健康まつり 開催
- 8 第1回「ちびっこたそがれ夏まつり」開催
- 10 ふるさと産品直売所 オープン
- 1992.9 クローバー給付金制度 創設
- 1993.4 国道370号線 昇格
- 5 ふるさとセンター 完成
- 9 町の木・花 決定(柿と牡丹)

1995 平成7年

- 1996.3 新町制施行40周年記念式典 挙行
- 1997.2 「ゆめさきとんねる」完成
- 1998.8 学校給食共同調理場 完成
- 1999.4 「紙遊苑」オープン
- 2000.6 「ゆめみるとんねる」完成
- 地域福祉センター 完成
- 2001.5 下水道通水
- 2004.7 世界遺産
「紀伊山地の霊場と参詣道」登録



道の駅「柿の郷くどやま」オープン



九度山文化
スポーツセンター
完成

1975 昭和50年

- 1975.4 平越町長 就任
- 10 九度山駅下横断歩道橋 完成
- 1976.3 新町制施行20周年記念式典 挙行
- 1977.5 長野県真田町との姉妹縁組の盟約
- 1979.1 新春町民マラソン大会 開催
- 1980.1 杉本町長 就任
- 6 澤水奨学基金制度設置条例 制定
- 12 基本的人権尊重する町 宣言
- 1981.4 中央公民館 竣工
- 1983.9 九度山中学校新校舎 完成
- 1984.11 豊かな村づくり事業
農林水産大臣賞受賞

2015 平成27年

- 2015.4 第1回将星真田幸村花火大会 開催
- 9 2015紀の国わかやま国体なぎなた競技会 開催
- 2016.3 九度山・真田ミュージアム オープン
- 4 第1回九度山まちなか軽トラ市 開催
- 9 第1回くどやま芸術祭 開催
- 10 新町制施行60周年記念式典 開催
第1回幸村杯 開催
- 2016.10 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」追加登録
- 2017.1 岡本町長 関西元氣文化圏賞特別賞 受賞
- 9 くどやま森の童話館 オープン
- 2018.4 九度山・真田ミュージアム名誉館長 北川央氏 就任
- 2019.5 九度山柿の郷大橋 開通
- 11 九度山駅 おにぎりスタンド オープン
高野下駅 駅舎ホテル オープン

2005 平成17年

- 2005.5 九度山保育所 開所
- 2006.5 岡本町長 就任
- 8 長野県上田市と姉妹都市 提携
- 2007.5 松山常次郎記念館 オープン
- 8 第1回子ども議会 開催
- 2008.11 第1回大収穫祭IN九度山 開催
- 2009.1 第1回九度山世界遺産マラソン 開催
- 4 第1回町家の人形めぐり 開催
- 2010.1 旧萱野家「大石順教尼の記念館」オープン
- 3 地域優良賃貸住宅「さくら団地」完成
- 2011.3 九度山文化スポーツセンター 完成
- 2014.4 道の駅「柿の郷くどやま」オープン



新町制施行70周年記念公演



幸村杯

2025 令和7年

- 2026.2 新町制施行70周年記念式典 開催
新町制施行70周年記念公演 開催

- 2020.6 日本遺産
「女性とともに今に息づく女人高野」認定
- 2021.5 伊都・高野山ユネスコ協会 設立
- 8 新型コロナウイルスワクチン集団接種1回目
- 2022.7 尼子騒兵衛氏所有忍者用具等 寄託
- 5 九度山文化・観光大使 桜花昇ぼる氏 就任
- 2023.4 世界遺産登録20周年記念事業 オープニング
- 2024.10 白浜町、高野町との3町
「観光まちづくり相互連携協定」調印

2020 令和2年



長野県上田市と
姉妹都市 提携

未来の九度山町は、平和でみんなが安心できるまちであり続けてほしいです。柔道をやっているの、大会での優勝をめざして稽古を頑張っています。

南本 航佑さん



未来の九度山町は、これからも争いのない平和なまちでいてほしいです。将来はカレー屋さんになって、好きなカレーをたくさん作りたいです。

佐々木 咲乃介さん



未来の九度山町は、もっと有名なまちになって欲しいです。将来はいろいろなものを発明する発明家になりたいです。

藤井 葵さん

地域の子どもたちはまちの未来を担う存在。九度山町では、基幹産業であり伝統でもある柿づくりを次世代へとつないでいきます。柿農家の中谷さんは毎年、町立九度山小学校3年生の子どもたちを対象とした、柿収穫体験を実施しています。収穫体験を行った7名の子どもたちにインタビューを実施し、まちや自分の未来を考えてもらいました。

元気を実らせる 未来への種

九度山町が全国に誇る 伝統産業の柿づくり。 未来を担う子どもたちに伝え、 新たな実を育てています。

九度山町の伝統を子どもたちへつなぐ

未来への種まき

柿収穫を体験した 小学生7名に インタビュー!



未来では、もっとたくさんの柿畑がある九度山町になってほしいです。将来の夢はまだ決まってないけど、勉強やいろいろな挑戦をしていきたいです。

萩原 嘉子さん



未来の九度山町は、幸せに暮らせる平和なまちであり続けてほしいです。将来は九度山小学校の先生になりたいので、勉強を頑張っています。

堀江 愛菜さん



未来の九度山町は、これからも楽しくて平和なまちでいてほしいです。将来はケーキ屋さんになって、家族のクリスマスケーキを作りたいです。

海堀 藍那さん



教えてくれたひと



九度山町で作られる柿は日本一。身近に「日本一の柿」があることを知って、誇りに感じてほしいという思いで、30年以上地域の子どもたちに柿づくりを伝えていきます。この収穫体験を通して、「九度山の柿を守りたい」と思ってくれる子どもが一人でも増えることを願っています。

柿農家 中谷 裕一さん

interview



未来では、犯罪がなくて安心して暮らせる九度山町のままでいてほしいです。パズルが好きなので、将来はパズルを作る博士になりたいです。

松井 翔太郎さん

